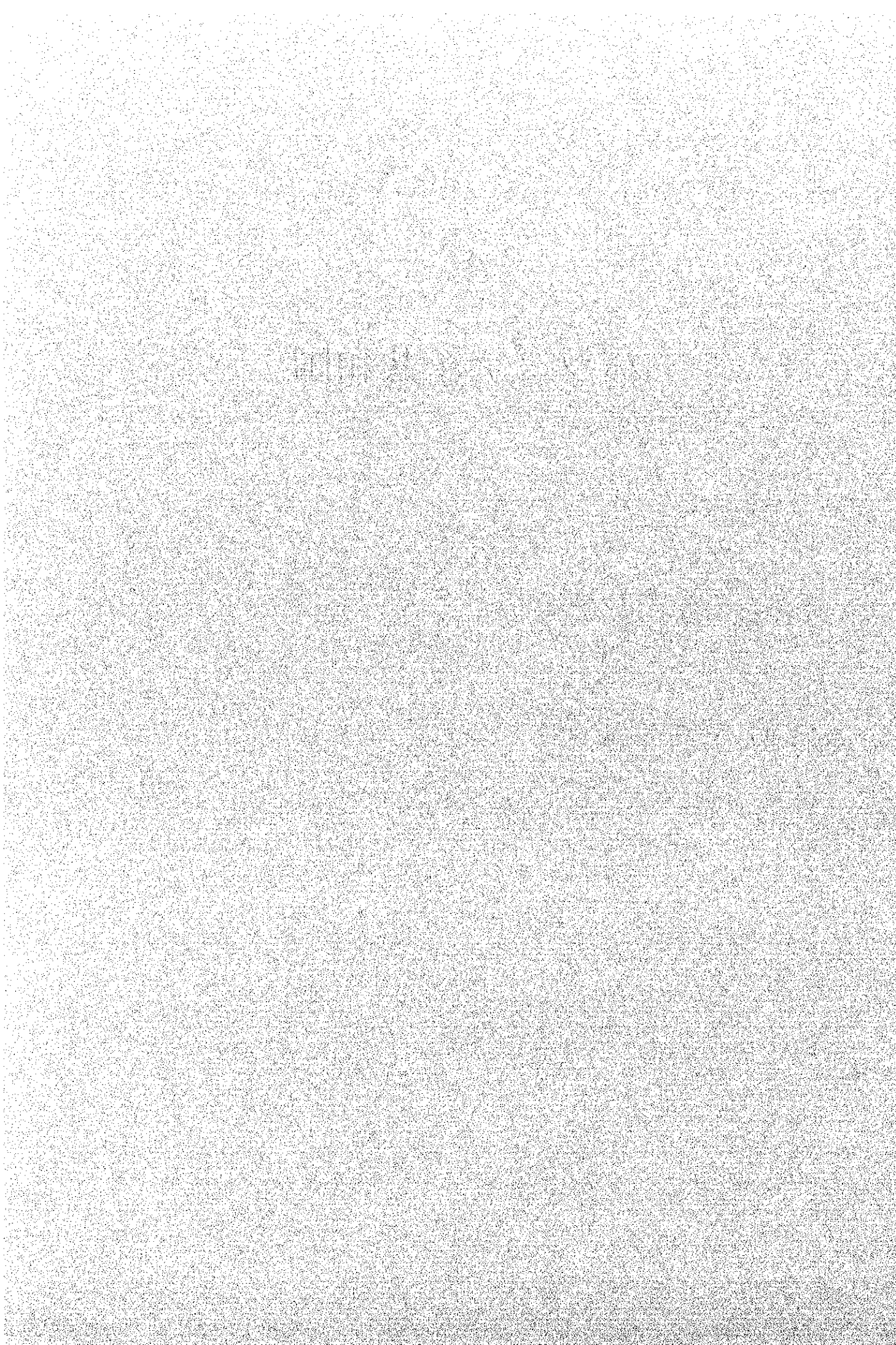


パラグアイ共和国



海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	全パ永続農法研究協議会 (欧文) Asociacion de Agricola Sustentable en el Paraguay					
設立目的	畑地土壌の表土流出防止を目的に、大豆を中心とした不耕起栽培技術の確立と、さらに輪作、緑肥作物、有機複合などとの組み合わせによる「環境に優しい持続的農業技術」の研究と確立を行う。					
設立年月日	1987年 8月 13日		法人格取得年月日	1993年 9月 1日		
代表者	職 名	会長		任 期	96年 3月～98年 3月	
	氏名 (和文)	大西 博源				
	// (欧文)	Hakugen Onishi				
役員構成	会長 1名、副会長 2名、会計 1名、書記 1名、地区代表役員各 2名、監事 2名					
本部所在地	Hakugen Onisi Colonia Yauazu, Km 41, Alto Parana, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	c/o Assoc. Japonesa de Yguazu Distrito Yguazu, Ruta Internacional Km 41, Dpto. Alto Parana, Paraguay				
	電話番号	0632-20-243		(団体・個人宅[イグアス日本人会])		
	FAX番号	0632-20-243		(団体・個人宅[イグアス日本人会])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	172世帯 172名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)
	法人、団体会員	____ 法人 (団体) 主な法人 (団体) 名:				
会員資格等	会員資格	・ 本研究会の活動主旨に賛同する者 ・ ・				
	会 費	年間 7米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 G2,850)				
	会員の特典	国内及び外国への視察研修				
使用言語	・ 総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語のみ					
	・ 団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 日本語及びスペイン語					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言 語					
	価格 (有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
イグアス支部	全パ永統農法研究協議会支部	
ピラボ支部	全パ永統農法研究協議会支部	
ラ・パス支部	全パ永統農法研究協議会支部	

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日～98年 3月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
各支部分担金	681.00	調査経費	425.00
JICA助成金	2,784.00	視察研修	2,900.00
農薬会社からの寄付	2,915.00	技術交流	673.00
		研修会実施	713.00
		会議費	451.00
		研修会経費	463.00
		地域研究費	681.00
		雑費	74.00
合計	6,380.00	合計	6,380.00

換算レート：US\$1＝現地通貨 G2,525 (97年 3月31日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	5,421.00	13,056.00	16,640.00	16,651.00	7,481.00
支出額（実績）	6,793.00	14,489.00	16,687.00	8,874.00	6,380.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・先進地視察研究会の実施（国内及び国外） ・支部別における研究活動の支援と促進 ・地域別技術開発と普及－地域別技術の研究 ・各種研究会セミナーへの参加
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：先進地視察研修

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・国内外への視察	・資金面で活動が制限される	・商社等の協力により実施	・テーマを絞り、継続実施する

2) 分野名：各支部研究活動の支援と促進

・地域別の研究活動	・テーマの絞り込み ・研究成果の取り纏め	・支部活動への資金援助 ・地域別研究発表会の実施	・支部間の連携強化
-----------	---	---	-----------

3) 分野名：各種セミナーへの参加

・不定期参加	・年間計画作成が必要	・講師としての参加 ・一般参加	・自己セミナー実施
--------	------------	--	-----------

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・輪作体系の確立 ・有効緑肥作物の選定	・会員個々での実施	・各自の成果を発表し、体系づくりを行う

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

ボリヴィア国日系移住地（サンファン及びオキナワ農協）との技術交流あり

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	農牧省あるいは、農業関係機関が実施する不耕起栽培、永続農法をテーマにした研究会、セミナー等への協力や視察者の受入を行っている。
地方自治体との関係	視察研修者の受入や、情報提供などの協力を行っている。
地域住民・民間団体との関係	研究会、セミナーへの講師派遣あるいは視察研修者の受入れと、情報提供を行っている。

(3) JICAへの要望・期待

先進地（外国）への視察研修の為に、助成金の増額を要望。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	全パマカダミアナッツ研究会					
	(欧文) Asociacion de Productores de Nuez de Macadamia en Paraguay					
設立目的	農家経営の安定化と、さらに発展、拡大可能な国際商品としての永年作物の研究を目的に、マカダミアナッツの栽培、加工技術の確立とマーケット開発を目指す。					
設立年月日	1990年 8月 5日		法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職 名	会長		任 期	98年 6月～ 00年 5月	
	氏名 (和文)	窪前 勇				
	// (欧文)	Isamu Kubomae				
役員構成	会長 1名、副会長 2名、会計・書記 1名、地区代表役員 各3名、監事 2名					
本部所在地	Isamu Kubomae Distrito Yguazu, Km 41, Alto Parana, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	c/o Assoc. Japonesa de Yguazu Distrito Yguazu, Ruta Internacional Km 41, Dpto. Alto Parana, Paraguay				
	電話番号	0632-20-245/254		(団体・個人宅))		
	FAX番号	0632-20-479		(団体・個人宅))		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅))				
会員数	個人会員	85世帯 369名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(%)	人(%)	人(%)	人(%)	人(%)
法人、団体会員	法人 (団体) 主な法人 (団体) 名：					
会員資格等	会員資格	・本研究会の活動主旨に賛同する日系人農家				
	会 費	年間 7 米ドル相当額 (換算レート：US\$1＝現地通貨G2,850)				
	会員の特典	マカダミアナッツ栽培技術の研修・視察への参加 種子、苗木、資材、他の供給				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語のみ					
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言 語					
	価格 (有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
イグアス マカダミアナッツ研究会	全パ マカダミアナッツ研究会支部	16
ピラポ マカダミアナッツ研究会	全パ マカダミアナッツ研究会支部	30
ラバス マカダミアナッツ研究会	全パ マカダミアナッツ研究会支部	17
アスンシオン マカダミアナッツ研究会	全パ マカダミアナッツ研究会支部	7
アマンバイ マカダミアナッツ研究会	全パ マカダミアナッツ研究会支部	15

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日～98年 3月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
繰越金	2,021.65	調査・研究費	2,772.27
分担金(会費)	63.36	研修費	201.50
未収分担金	368.31	普及費	816.83
JICA助成金	2,277.62	積立費	594.05
寄付金	277.22	会議費	269.54
預金利息	675.26	接待応接費	223.76
		役員手当	277.22
		次期繰越金	528.25
合計	5,683.42	合計	5,683.42

換算レート: US\$1=現地通貨 G2.525 (98年 3月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	4,726.00	6,067.00	8,818.00	4,990.00	5,360.00
支出額(実績)	4,377.00	4,090.00	4,756.00	6,037.00	5,155.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・現地適応性のあるマカダミアナッツ母樹の選定調査
・育苗事業の実施
・調査、研究会の実施（国内・国外）
・普及、啓蒙（会員及び会員外への技術、苗木等の配布と情報提供）
・加工技術の開発

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：育苗事業

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
個人会員で育苗	優良母樹の選定	樹形、着果状況の良好な母樹の選定調査	現地適応品種の選定普及

2) 分野名：現地適応性のあるマカダミアナッツ母樹の選定調査

国外優良品種の導入、配布	現地適応性が不明	現地に栽植されている品種の特性調査	現地適応品種の選抜
--------------	----------	-------------------	-----------

3) 分野名：調査、研修会

国外への研修	先進地の実態調査 (加工、マーケット、品種)	ブラジル、ボリヴィアへの視察研修	加工用機械の開発
--------	---------------------------	------------------	----------

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
加工技術と流通開発	剥皮用機械の自前開発、製造 商社調査	独自の流通経路確保

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

ボリヴィア国サンファン農協やブラジル国エスピリトサントの前川農場などの視察により育苗、栽培技術の研修や加工技術（方法、加工機械、設備など）の情報収集を行っており、今後も継続する計画である。
--

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	農牧省企画総局が主幹となって推進しているマカダミアナッツ振興政策に対し、視察研修者の受入、情報や苗木、種子の提供など積極的な協力を行っている。
地方自治体との関係	農学校、地方自治体からの要請に対し、種子などの無料提供を行っている。
地域住民・民間団体との関係	視察者の受入や種子の提供を行っている。

(3) JICAへの要望・期待

国内でのマカダミア栽培の普及、栽培技術の確立の為、今後ともますますの御指導、御支援をお願いしたい。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ピラポ日本人会 (欧文) Asoc. Japonesa de Pirapo					
設立目的	本会は、住民相互の融和と共同の精神を基調として、各関係機関の指導援助をあおぎ、連絡提携を密にし、移住地経済的社会的環境の整備充実を図り、当国の発展と地域社会の建設に努めることを目的とする。					
設立年月日	1968年 4月 15日		法人格取得年月日	1978年 12月 日		
代表者	職 名	会長		任 期	97年 3月～99年 2月	
	氏名(和文)	園田 義人				
	// (欧文)	Yoshihito Sonoda				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、評議員 6名、監査長 1名、監査 2名 (副会長以下評議員が各担当を兼務：体育連盟、造林、診療所、道路、教育文化、治安、福祉厚生)					
本部所在地	Colonia Pirapo, Departamento Itapua, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	Casilla de Correo 133, Encarnacion, Paraguay				
	電話番号	0768-223/371		(団体・個人宅[])		
	FAX番号	0768-371		(団体・個人宅[])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	251世帯1,234名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		574人(46.6%)	551人(44.6%)	93人(7.5%)	人(%)	16人(1.3%)
	法人、団体会員	1法人(団体) 主な法人(団体)名：ピラポ農業協同組合				
会員資格等	会員資格	・当会はピラポ移住地内及び、その周辺に居住する日本人並びに日系人で当日本人会所定の住民登録を行っている家長、及び希望者は別に住民登録を行い会員に成ることができる。				
	会 費	年間 米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 日本語					
定期出版物	タイトル	日本人会だより				
	発行部数	270				
	言 語	日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部	2	1
	経理部	2	
	土木部	15	
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	診療所	13	3
	薬局	2	
	日本語学校	12	

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
青年部	青年相互の融和と協同の精神を基調として地域社会の発展に努める。	
婦人部	婦人の団結と日本人会の各種行事の運営が円滑に行なえる様協力する。	
運動部（体育連盟）	各部（7部）の大会主催並びに調整、予算の配分。	
太鼓保存会	日本文化の伝承。	
鬼剣舞保存会	日本文化の伝承。	
寿春会	スポーツ、文化活動を通して高齢者同士の交流を図る。	
治安委員会	移住地内の防犯活動。	
警察協力会	移住地内の4ヶ所の警察運営の協力。	

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
事務所	常時4名の職員が業務遂行のために利用
公民館	当会主催の各種行事、会員、一般市民への貸出に利用
相撲場	年1回移住地大会、5年に一度の全国大会並びに国際親善大会に利用
野球場	毎月のリーグ戦他の試合、並び練習に利用
診療所	週日7:30～17:30 1日当り約30名の利用
日本語学校	小中学校毎土曜日 幼稚部月～金曜日利用
薬局	週日7:30～17:30 診療所の患者及び周辺の市民が利用
サッカー場	市民へも無料で開放。ほぼ毎日利用
ゲートボール場	会員の親達が随時利用

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 97年 12月31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
管理部収入	462,900.00	管理部支出	420,780.66
ピラポ診療所収入		管理部次期繰越金	42,119.34
JICA助成金	90,417.89	ピラポ診療所支出	216,448.01
診療所収入	98,094.91	ピラポ診療所次期繰越金	21,136.05
薬品売上	41,745.26	土木部支出	134,528.96
その他	7,326.00		
土木部収入			
JICA助成金	89,506.26		
その他	45,022.70		
合計	835,013.02	合計	835,013.02

換算レート：US\$1＝現地通貨G 2,850 (年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度					
予算額					
支出額(実績)					

4. 事業概要

(1) 事業内容

・領事事務の代行（在留邦人援護と婚姻、出生、死亡、在留等の届け） ・国際協力事業団の援護事務の代行 ・パラグアイ全国日本人会連合会の関係事務 ・当国政府とイタプア県並びにピラボ市役所等の事務連絡
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：医療衛生

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・移住地の唯一の医療機関としての役割を担っている。 ・周辺パ国移住民へ医療活動を通じて貢献している。	・パ国政府民主化により、税制の改革。 ・労働法の改革による雇用条件が変化している。 ・社会環境の変化により新たな対応に迫られている。 ・日系医療スタッフの確保に追われている。 ・JICAの助成金なくして採算ベースにのせることは難しい。 ・日系高齢化に対する日本人会医療機関としての役割が求められている。 ・外部医療施設的环境が改善されているので、環境改善をする必要がある。 ・交通の便の発達により大病院指向型に患者は移る傾向にある。	・厚生省の内規による院内薬局の分離により、名義の問題、経理の問題、I V A 及び所得税の対策を練る。 ・日本人会事業と診療所運営の切り離しが必要と考えている。 ・周辺医療機関との競争感覚が生じている。医療設備、環境及びスタッフの充実を図るべく検討中。	・日本人会会員の健康管理を主体とした地域医療機関としての役割を続けていく。 ・独立採算制にして形上日本人会から診療所を切り離した運営にしたい。 ・事業団からの助成金がかも切られる状況になっても自立運営のための準備をしていく。 ・パ国行政機関に対しては正規の手続きを行い、健全運営を心掛け地域に優しい本来の目的に向かう。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

特になし



公民館



日本語学校

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ラ・パス日本人会 (欧文) Asoc. Japonesa de La Paz					
設立目的	1. 会員相互の親睦を深める。 2. 会員の文化・教育の促進を図る。 3. 会員の健康管理と診療所の運営。 4. 会員の社会的向上を図り地域社会に貢献する。					
設立年月日	1971年 11月 26日		法人格取得年月日	1989年 10月 日		
代表者	職名	会長理事		任期	97年 2月～ 99年 2月	
	氏名(和文)	山神 良貞				
	// (欧文)	Yoshisada Yamagami				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、理事 7名、監事長 1名、監事 2名、事務局長 1名、 会計 1名、職員 3名、日語校長 1名、教師 7名(ボランティア含む)、西語補習教師 1名 現採医師 2名、特約医 1名、看護婦 4名(ボランティア含む)					
本部所在地	Distrito La Paz, Departamento de Itapúa, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	Casilla Correo 04, Encarnacion, Paraguay				
	電話番号	0763-20009 (団体・個人宅[])				
	FAX番号	0763-20009 0763-20015(ラパス農協) (団体・個人宅[])				
	E-mailアドレス	lapazcop@itacom.com.py (団体・個人宅[ラパス農協])				
会員数	個人会員	136 世帯 697 名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 84 %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		99 人(73%)	37 人(27%)	人()%	人()%	人()%
	法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名: ラパス農業協同組合				
会員資格等	会員資格	・ 移住地内及び移住地の周辺に居住する日系人、世帯の長 ・ ・				
	会費	年間 505 米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨 G2,850)				
	会員の特典	70歳以上の会員家族に診療所内部保険カードの助成、日本語・西語補習の受講				
使用言語	・ 総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語					
	・ 団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) スペイン語、日本語					
定期出版物	タイトル	会報 声の広場(月刊)				
	発行部数	137				
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)	—				

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務		
	財務 治安植林	2	
	福祉厚生	1	
	土木	1	
	教育	1	
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	診療所運営委員会 (青年ボランティア1名含む)	9	2
	日本語学校運営委員会 (青年ボランティア1名含む)	1	7
	西語補習学級運営委員会		1
	重機械管理運用委員会	2	

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
青年部	青年相互の親睦と地域社会の発展に寄与する	35
婦人部	部員相互の親睦と地域社会に貢献する	100
長寿会	誕生会、スポーツ等を通して高齢者間の交流を図る	67

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
会館	各種行事の会場 (総会、冠婚葬祭等)
野外ステージ	常時は日本語学校の運動場に使用 不定期ながら舞踏会等に使用
日本語学校校舎	週3日日本語、週1日西語補習に使用
宿舍	看護婦、青年ボランティア、重機械オペレーターが常時使用
事務所	常時職員がいて業務を遂行している
診療所	24時間体制 診療件数1997年度 3,855件 (1日平均約10名)

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997 年度収支計算書 (97年 1月 1日～ 97年 12月 31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
日本人会		日本人会	
繰越金	2,209.00	事業管理費	42,459.00
負担金	42,871.00	教育費	3,193.00
事務委託料	13,117.00	謝金(日語、西語謝金)	8,467.00
交付金(日語、西語謝金)	8,467.00	道路管理費	8,491.00
その他の収入	13,066.00	催事、植林、治安他	17,120.00
計	79,730.00	計	79,730.00
重機械管理運用委員会		重機械管理運用委員会	
繰越金	4,062.00	事業管理費	7,150.00
受取利用料	29,901.00	重機維持費	24,740.00
その他の収入	1,457.00	繰越金	3,530.00
計	35,420.00	計	35,420.00
日本語学校運営委員会		日本語学校運営委員会	
繰越金	2,109.00	教師日手当	5,432.00
授業料	7,474.00	教師謝金	4,480.00
助成金 日語謝金	4,480.00	学校運営費	9,795.00
助成金 日会	1,754.00	繰越金	2,109.00
その他の収入	5,999.00		
計	21,816.00	計	21,816.00
診療所運営委員会		診療所運営委員会	
繰越金	7,735.00	人件費	71,529.00
助成金	83,833.00	医薬品費	58,136.00
引当金繰入	16,217.00	運営費	13,830.00
診療所収入	73,368.00	営繕器材	50,813.00
その他の収入	24,608.00	繰越金	11,453.00
計	205,761.00	計	205,761.00
合計	342,727.00	合計	342,727.00

換算レート: US\$1=現地通貨 G2,850 (98年12月 2日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	208,624.00	208,734.00	250,934.00	246,814.00	292,193.00
支出額(実績)	226,270.00	260,881.00	290,318.00	261,997.00	342,828.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・日本国領事館（在留調査、諸証明取扱い）、JICA（助成金関連） ・当国行政機関及び官民との折衝 ・在パ日本人会連合会関係 ・治安協力 警察協力委員会を設け定期巡回を行っている ・道路管理 市役所との連携により支線道路管理を行っている ・福祉厚生 診療所の他に内部保険制度、移動健康相談室を設けている ・教育 日本語教育、西語補習授業、講習会等を行っている ・植林 小規模ではあるが公共用地に植林を行っている

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：診療所移管業務

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
施設 機器等 JICAの助成によって次第に完備されている。 診療状況 毎年日系人35%、パ人65%の診療件数に示すように地域の医療機関としてたいへん喜ばれている	運営状況 地域の経済力、人口が乏しい事に起因して収支バランスを保つために苦慮している。	診療所内部保険制度の実施 国籍を問わず年間42-84 US\$の掛け金で、一般的にかかりやすい小さい病気に対応できるようにしている。 医療共済制度の検討 内部保険で補えない治療に対する経費の貸付け制度を検討している。	・現在JICAの助成により維持出来ている。 ・この助成が打ち切りになったと想定すれば、現状のままでは無医村になる事も十分予想される。 ・それを避けるために助成金に代わる基金が必要である。 ・方法として現在実施されている内部保険制度の充実をはかり積立金を増額する。 ・低所得者の患者の対応を慎重にし未収金の発生を極力防ぐ。

2) 分野名：道路管理事業

・主幹線は日本の援助によって舗装工事が進められている。 ・支線補修 JICA助成の道路補修重機により市役所が路面補修工事、日本人会が水害工事として側溝暗渠等に対応。 ・地元負担だけでは困難な木橋改修工事への助成はたいへん助かっている。	・現在道路管理費の一部を市役所が徴収しているが、未収金に苦慮している模様。 ・いずれにしてもパ国政府地方自治体に道路管理をお願いするのは難しいので、経費の負担は日系人がその大半を補うことは避けられない。	・重機の維持管理をスムーズに行うための方法として日本人会とは別会計としている。	・重機更新引当金は積み立てされているが、更に努力して将来に備える必要がある。
---	--	---	--

3) 分野名：教育事業

日本語 毎週3日授業が行われ、よい結果が出ている。 スペイン語 パ国全体の問題であるが平均して日系人子弟は西語が劣ると言われている	・公立学校の維持負担の大半が日系人負担となっているが、生徒数を維持するために黙認している。	・日系人子弟の語学力を高めるために西語補習学級を行っている。	・国の人口から比較すると日系人人口は僅かであるが、パラグアイ社会に役立つ人材育成に努力したい。
---	---	--	---

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・日系人外との交流の場 会場の規模の問題で交流可能な行事が開催できないため、日系人の行事とは別に開催しており、現在表面化はしていないが将来的に摩擦が起きる懸念がある。	・会員外から施設の使用申請がある場合は受け付けているが、根本的な対応とはなっていない。	・娯楽、スポーツ、大規模な冠婚葬祭会場に使用可能な施設が必要であり、これの建設を周年祭事業として提案する方針。

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

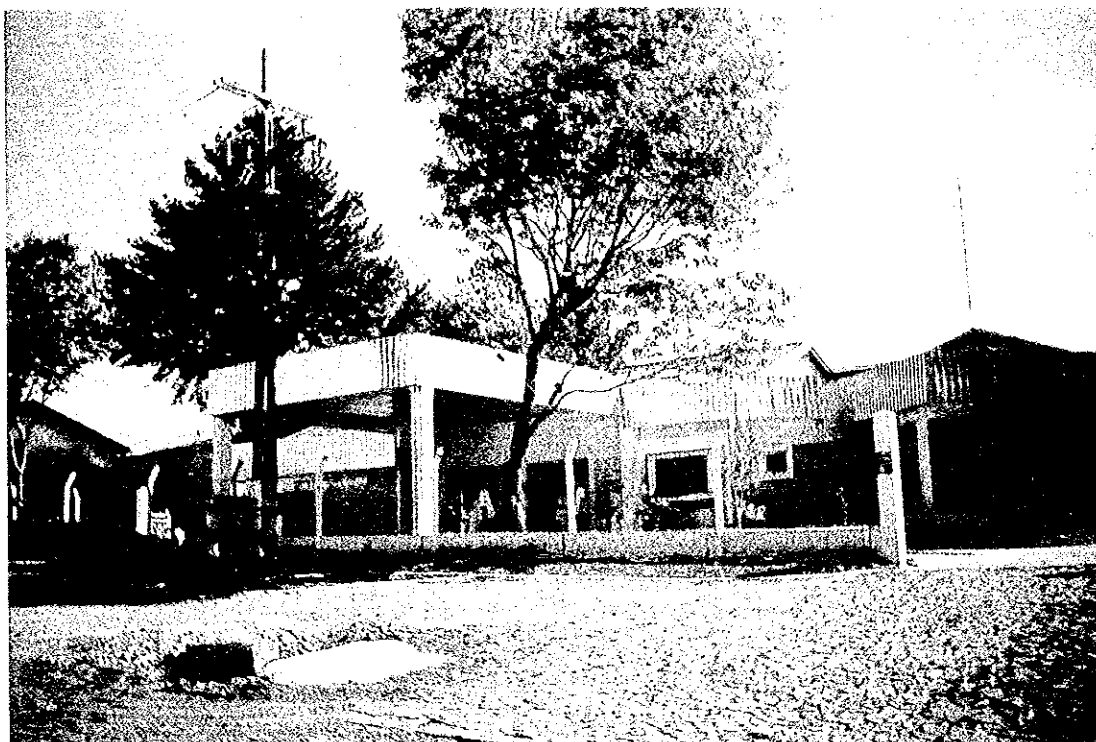
特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	日本援助事業との関係で随時大統領他が来訪する。 また、土木省等に重機の応援（有償）を依頼している。
地方自治体との関係	市役所は日本人会を支援団体と位置付け融和をはかっている。特に道路管理においては、道路管理費の一部を市税に組み込み路面補修を市の事業として行っている。
地域住民・民間団体との関係	当会が運営する診療所が診察するその大半が日系人外住民であり、当診療所医師が無医村地域での予防接種等も行っている

(3) JICAへの要望・期待

JICAは指導団体として地域社会に溶け込み、大使館とともに日本との架け橋となって、日系人外の現地人も対象に含め、なくてはならない存在になっている。これが永遠に続く事を願う。



ラパス診療所



ラパス日本語学校

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	イグアス日本人会					
	(欧文) Asoc. Japonesa de Yguazu					
設立目的	①会員相互の融和と協力 ②移住地内の環境の整備 ③健全なる地域社会の建設 ④パラグアイ国社会、経済、文化の発展に寄与する					
設立年月日	1967年 12月 10日		法人格取得年月日	1980年 12月 2日		
代表者	職 名	会長		任 期	98年10月～99年 2月	
	氏名 (和文)	公文 義雄				
	// (欧文)	Yoshio Kumon				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、総務 1名、理事 6名、監事長 1名、監事 2名					
本部所在地	Distrito Yguazu, Ruta Internacional Km41, Dpto. Alto Parana, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	Distrito Yguazu, Ruta Internacional Km41, Dpto. Alto Parana, Paraguay				
	電話番号	0632-20-243/468		(団体・個人宅[])		
	FAX番号	0632-20-243		(団体・個人宅[])		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	182世帯 879名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 98%				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		395人(45%)	440人(50%)	44人(5%)	人(%)	人(%)
法人、団体会員	4法人(団体) 主な法人(団体)名: CAOSA, CAYSA, CRYSA, CHYSA					
会員資格等	会員資格	・日本人並びに日系人 ・地域内居住者 ・家長				
	会 費	年間 170 米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 2,850 Gs)				
	会員の特典	医療割引、重機使用割引、日会主要施設の無料開放				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語・現地語 (スペイン語)					
定期出版物	タイトル	イグアス日本人会便り				
	発行部数	230				
	言 語	日本語				
	価格 (有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部	4	5
	スクールバス	2	
	水道事業	1	
	墓地管理		
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	診療所	13	6
	日本語学校(含 高校)	10	3
	採石場及び道路整備事業	1	9
	公園整備事業		2

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
婦人部	婦人相互の親睦を図りつつ、日会行事に参加協力する	182
老人会	高齢者同士の親睦を図るため、月例会の開催他交流の促進	65
体育部	各種スポーツの開催及びスポーツを通じた交流への支援	12
文化部	文化行事の開催及び受け入れの支援	7
教育委員会	日本語学校の運営管理	7
防犯部	警察への治安活動協力	17
道路部	各路線組合協力し道路補修等	6
事業部	企画、調整、管理	6
福祉部	敬老会、慰霊祭他、福祉活動への支援	6

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
日本語学校	週日日本語学校に利用
診療所	週日8:00~17:30 年 18,000件程度の患者が利用している
採石場	週日7:00~17:00 割石、コンクリート製品、販売
日本人会館	図書館併設で週日開放 会館(集会場)は申し込みに応じ利用可
職員宿舍	満室
グラウンド	常時開放
墓地	公共墓地と日会購入基地の定期掃除を遺族会と協力して実施
公共水道	市街地住宅(約270戸)への給水、内日本人約100戸
イグアス教育研究所	高校の教室及び音楽教室等、資料保管整理に利用
資材倉庫	
公園	一部植林を実施し、地域内外の方々に開放し、憩いの場に供している

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1)一般会計		1)一般会計	
前期繰越金	11,679.00	総務費	136,733.00
会費	32,234.00	事業費	1,860.00
治安分担金	11,298.00	教育費	44,877.00
協力金	2,958.00	文化費	3,438.00
教育費	38,132.00	体育費	6,009.00
収益金	27,893.00	警察協力費	17,823.00
諸収入	81,566.00	福祉厚生費	1,983.00
繰入金	17,266.00	予備費	3,985.00
		次期繰越金	6,318.00
小計	223,026.00	小計	223,026.00
2)診療所特別会計		2)診療所特別会計	
前期繰越金	61,299.00	診療所支出	282,894.00
診療所助成金	69,268.00	次期繰越金	99,027.00
診療所収入	251,354.00		
小計	381,921.00	小計	381,921.00
3)採石場特別会計		3)採石場特別会計	
前期繰越金	4,978.00	採石場支出	260,217.00
採石場収入	256,245.00	次期繰越金	1,006.00
小計	261,223.00	小計	261,223.00
4)上水道特別会計		4)上水道特別会計	
前期繰越金	6,269.00	上水道支出	27,463.00
上水道収入	30,966.00	次期繰越金	9,772.00
小計	37,235.00	小計	37,235.00
5)道路工事特別会計		5)道路工事特別会計	
道路工事収入	76,458.00	道路工事支出	76,458.00
小計	76,458.00	小計	76,458.00
6)祭典・コピー特別会計		6)祭典・コピー特別会計	
前期繰越金	11,812.00	祭典・コピー支出	1,620.00
祭典・コピー収入	5,936.00	次期繰越金	16,128.00
小計	17,748.00	小計	17,748.00
7)日語関係		7)日語関係	
前期繰越金	13,133.00	日語教師謝金	9,844.00
日語教師助成金	10,724.00	西語教師謝金	4,811.00
西語教師助成金	4,880.00	日語教材購入謝金	2,715.00
日語教材購入助成金	4,598.00	次期繰越金	17,525.00
日語学校教材整備基金	1,560.00		
小計	34,895.00	小計	34,895.00
8)道路補修助成金		8)道路補修助成金	
前期繰越金	32,874.00	道路補修用機械支出	268,228.00
車両購入助成金	247,912.00	次期繰越金	12,558.00
小計	280,786.00	小計	280,786.00
合計	1,313,292.00	合計	1,313,292.00

換算レート：US\$1＝現地通貨 2,150 Gs (97年12月31日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	127,055.00	137,353.00	190,141.00	228,650.00	227,125.00
支出額(実績)	140,579.00	172,493.00	241,673.00	214,010.00	216,708.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・自治活動（域内外行事、対外交渉、JICA助成金関連） ・移住地内の道路維持管理 ・学校運営 ・診療所運営 ・その他住民生活に必要な便宜供与
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・日本語学校の運営 ・日本語教師謝金の支給 ・日本語学校へのボランティア受け入れ ・日系研修員の募集	・日本語能力の低下 ・施設の老朽化 ・若手教師の育成 ・日本語教師の待遇改善 ・混血児童の増加	・非日系人を対象とした特別クラスを開設し、日本語の普及に尽力している ・本邦研修への支援 ・他国の日本語校との交流	・日本語教育を継続する ・日系社会を理解し協調できると共に、パラグアイ社会に役立つ人材の育成

2) 分野名：医療衛生

・診療所の運営 ・地域医療活動への支援 ・他医療活動との協調	・労働条件の改善 ・施設の維持管理 ・高齢化社会の対応 ・日本語の理解出来る人材の育成 ・施設の有効的な利用	・地域住民の健康診断 ・地域医療機関との連携を保ちつつ相互協力の実施 ・在宅介護等の指導及び支援	・健康保険等を利用出来る機関とすること ・職員福利厚生施設を充実し働き易い職場とする ・福祉活動の充実に努める
--	--	--	---

3) 分野名：道路維持管理

・市と協力し道路の維持管理を実施 ・所有重機の有効活用 ・自主管理への支援	・気象災害を受け易く、土壌流出による損壊等が同時発生すること	・軟弱道路部分のジャリ敷き ・暗渠の補修等	・市街地道路の整備（アスファルト道路にしたい） ・側溝の整備
---	--	--	---

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・人の出入りや交通の便が良い移住地であること	・市の警察協力委員会を通じて警察の治安活動への協力 ・パトロールカーの供与、燃料、食料、助成金等を支給	・住民全体の労働の場所の提供と生活の向上を目指すこと ・収入の道を作り、犯罪を少なくする

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

- ・ ブラジル、アルゼンティン、ボリヴィアとの日本語学校を通じた学校交流
- ・ 日本の学校と姉妹校を結び、学校生徒同士の通信交流
- ・ その他、日本人会の広報を通じた情報の交流

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	・ 市役所と密接な関係を維持しており、道路・治安・その他、各種要請へ積極支援している ・ 県の行政機関の要請及び懇談会への参加
地域住民・民間団体との関係	・ 当会が運営する診療所利用の患者の8割は、非日系人である ・ 市警察協力委員会は、日系人主導で運営されている ・ 学童の通学に便宜を図る為、スクールバスの運行を実施 ・ 当会主催行事には、パラグアイ国人も積極的に参加

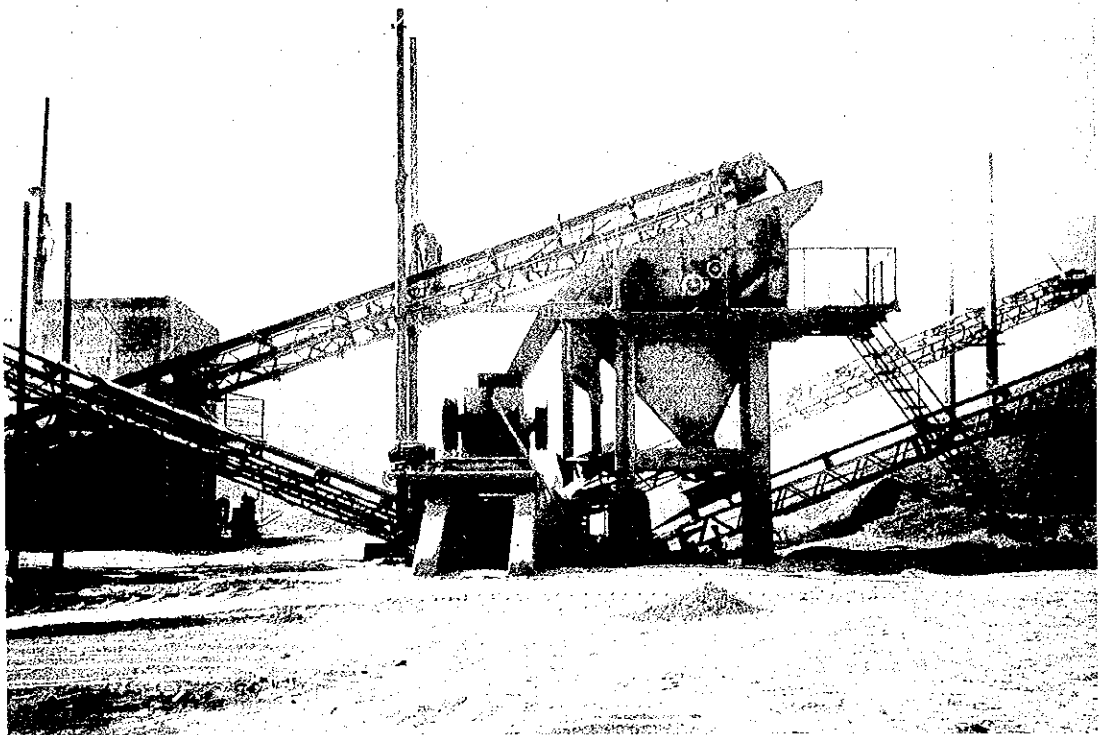
(3) JICAへの要望・期待

各種申請及び報告書について、日本語文の簡易化・パターン化を要望する。

(世代交替が進行中で日本語が難解であるため)



日本人会館



採石場

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	アマンバイ日本人会 (欧文) Asoc. Japonesa del Amambay				
設立目的	日系人の緊密な連携と協調を基とし日系人に与えられた基本的な権利の自主的擁護と生活環境の整備改善をなし、併せて子弟教育を行い、現地社会との協調融和を図る。				
設立年月日	1971年 5月 30日		法人格取得年月日	1972年 5月 22日	
代表者	職 名	会長		任 期	98年 1月～ 98年 12月
	氏名 (和文)	湯浅 悟			
	// (欧文)	Satoru Yuasa			
役員構成	会長 1名、副会長 1名、理事 11名 (内教育委員3名)、監事 2名、日本語学校校長 1名 事務局長 1名				
本部所在地	Tte. Herrero y Curupayty, Pedro Juan Caballero, Dept. del Amambay, Paraguay				
連絡先	郵便物宛先	C. Postal No. 128, Ponta Pora, MS, 79900-000, Brasil			
		Casilla Correo 14, Pedro Juan, Caballero, Dpto. del Amambay, Paraguay			
	電話番号	036-2529 (団体・個人宅[])			
	FAX番号	036-2529 (団体・個人宅[])			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])			
会員数	個人会員	110 世帯 490 名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		207人(____%)	283人(____%)	____人(____%)	____人(____%)
	法人、団体会員	____ 法人 (団体) 主な法人 (団体) 名:			
会員資格等	会員資格	・ 日系人のみ ・ 県内居住者 (但し、ブラジル国ポンタ・ポラン居住者も正会員として受け入れられる。)			
	会 費	年間 126米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 G2,855)			
	会員の特典	公共施設使用、日本語学校授業料半額			
使用言語	・ 総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等) 日本語				
	・ 団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)				
定期出版物	タイトル				
	発行部数				
	言 語				
	価格 (有料の場合)				

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務	1	
	庶務兼会計	1	
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	8	

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
婦人部	相互の親睦、教養を高め、移住地発展に婦人の立場より協力する。	49
明昭会（老人部）	スポーツ、文化活動を通し高齢者の交流と健康の維持を図る。	
父母と教師の会	父兄の立場より日本語学校に協力する。	

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
日本語学校	
学生寮	入寮者は現在教師の他9名。
公民館	日本人会、傘下団体の行事に利用。また、現地社会にも格安の料金で開放。
総合グラウンド	日本人会、傘下団体が常時使用。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998 年度収支計算書 (98年 1月 1日～ 98年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	1,267.00	役員手当	2,827.00
会費	14,136.00	職員給与	13,274.00
授業料	25,246.00	教師給与	21,755.00
JICA助成金	2,765.00	法定福利費	1,090.00
その他の収入	5,380.00	公租公課	747.00
預金利息	23,542.00	対外交流費	1,000.00
国際交流基金より	1,674.00	教材費	1,521.00
		補修費	1,031.00
		出張旅費	1,185.00
		光熱水料	1,775.00
		通信費	683.00
		行事費	2,394.00
		各種助成	2,443.00
		治安対策費	4,862.00
		車輛維持費	1,370.00
		その他	16,053.00
合計	74,010.00	合計	74,010.00

換算レート：US\$1＝現地通貨 G2,865 (99年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	53,600.00	66,115.00	99,092.00	113,296.00	79,514.00
支出額(実績)	53,600.00	66,115.00	99,092.00	113,297.00	79,514.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・ 学校運営 ・ 自治活動（年中行事、対外交渉、特約歯科医に対してJICA助成金交付等） ・ 治安対策 ・ ・

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本語学校運営 日本語学校教師謝金支給 日系研修員の募集・選考	日本語能力の低下をどうやってくいとめるか。若手教師が育たない。 日本語教師の待遇改善はこれ以上多くはのぞめない。	日本から当会では青年をJICA関係者以外で3名招聘している。但し、期間が1～2年と短い。	当国では日系人は少数民族である。日系人としての資質を失わず、現地社会での指導的立場に立つ人材育成が目標。

2) 分野名：域内親睦

年中行事、当会主催運動会 敬老会、成人式、紅白歌合戦、各傘下団体の野球、ソフトボール、サッカー、ゲートボール等の大会、盆踊り演芸会、カラオケ大会等	10数年前より始まった出稼ぎ労働者が経済不況と相まって今後帰国することが考えにくい。また、スムーズな世代交代が難しい。	それぞれの団体での活動は問題なく行われている。	
--	---	-------------------------	--

3) 分野名：

--	--	--	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

ブラジル国サンパウロ日伯援護協会に入会している会員が当地区に54名。年一回、巡回診療のため医師数名が診療車にて訪れる。野球、ゲートボール、演芸の交流は南マット・グロッソ州とさかんに行っている。また、日本語能力試験も南マット・グロッソ州の受験者は当地で受験する。隣接都市ポンタ・ポラン側に当会会員16名がおり、往来は徒歩、車輛とも自由。

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	農村の治安強化のため、日本政府より現在の国家警察へ3派出所建設と当会へ治安対策用車輛の供与を受け、日系人関係の治安対策を国家警察に協力する。
地方自治体との関係	県庁、市役所とは友好的な関係にあり、当会主催の行事には知事、市長とも必ず出席してもらえる。また、当会としても地域社会の発展のための協力はいつも行っている。市役所は日本政府より音楽機材の供与を受けた。
地域住民・民間団体との関係	世界青年協議会主催の「民族の祭典」に参加、また、環境保護団体、国家警察へのパトロールカー購入。現在、燃料やその他の助成を治安対策の一環として民間団体と協力して行っている。

(3) JICAへの要望・期待

日系地域社会での活動、特に日本語教育の活性化には限界がある。日本語教師は魅力ある職業とは言い難い。今後とも地域社会の努力のみでは、日本語教育の状況改善、日本語教師の待遇改善は不可能である。当会では独自に日本より教師を招いているが、それにも経済的限度がある。できれば、現場に必要な日本語教師を多く派遣していただきたい。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	パラグアイ日本人会連合会					
	(欧文) Federacion de las Asociaciones Japonesa del Paraguay					
設立目的	本会はパラグアイ・日本両国の親善と文化交流の促進に寄与すると共に、この国の文化の建設に参加し、民生の向上と社会福祉に貢献し、その成果を以て、国際社会における日系人の地位の向上と、会員相互の親睦、協調、融和を図り日系社会の思想開化に尽くすことを目的とする。					
設立年月日	1970年 9月 9日		法人格取得年月日	1972年 7月 29日		
代表者	職 名	会長		任 期	98年 3月～99年 3月	
	氏名(和文)	豊歳 直之				
	// (欧文)	Naoyuki Toyotoshi				
役員構成	会長 1名、副会長 3名、理事 5名、 担当委員：総務 1名、財務 1名、教育 1名、文化 1名、体育 1名、福祉 1名					
本部所在地	Julio Correa y Domingo Portillo, (Villa Guarani), Asuncion, Paraguay					
連絡先	郵便物宛先	Julio Correa y Domingo Portillo, (Villa Guarani), Asuncion, Paraguay				
	電話番号	021-609-328 (団体・個人宅[])				
	FAX番号	021-609-328(夜間自動) (団体・個人宅[])				
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	世帯 名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 80 %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(71%)	人(29%)	人()%	人()%	人()%
	法人、団体会員	9法人(団体) 主な法人(団体)名：日本人会 8、文化協会 1				
会員資格等	会員資格	・日系人のみ(夫婦どちらかが日系人の家庭) ・9日系団体の会員の戸主(本会の家族数は1,152)				
	会 費	年間1家族当たり5.40 米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨2,800Gs.)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語のみ					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語のみ					
定期出版物	タイトル	パラグアイ日本人会連合会会報				
	発行部数	1300				
	言 語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部	2	2
	財務部		
	教育部		
	文化部		
	体育部		
	福祉部		
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	アスンシオン日本人会		
	エンカルナシオン日本人会		
	ラ・コメルナ文化協会		
	アマンバイ日本人会		
	イグアス日本人会		
	エステ日本人会		
	チャベス日本人会		
	ピラポ日本人会		
	ラ・パス日本人会		

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
パラグアイ日本語教育 推進委員会	日本語教育に関わる事業全般 (日本語弁論大会、作文コンクール、日本語能力試験等の実施、奨学金貸付 業務、日本語教材開発、JICA教育助成金等代行業務等)	

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
なし	連合会自体は施設を持たないが、各日本人会はそれぞれ日本語学校、診療所等を運営 している。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～97年12月31日)

(US\$)

・一般会計

歳入の部		歳出の部	
1) 会費	6,574.88	1) 人件費	11,219.53
2) 分担金	641.86	2) 通信費	605.60
3) 手数料他	4,885.65	3) 交際費	221.40
4) 受取利息	7,285.46	4) 交通費	932.56
5) 寄付金	990.70	5) 事務費	730.04
6) 雑収入	377.23	6) 広告費	69.77
7) 為替差益	10,233.48	7) 印刷費	557.77
		8) 家賃	7,670.51
		9) 会議費	1,988.33
		10) 消耗品費	47.77
		11) 学生寮経費	638.47
		12) 研修生経費	494.81
		13) 雑費	10.23
		14) 次期繰越金	5,802.48
合計	30,989.26	合計	30,989.26

・教育関係助成金等決算書

歳入の部		歳出の部	
1) JICA助成金		1) 日本語教師合同研修	16,629.86
日本語教師合同研修	17,505.12	2) 日本語教師謝金	62,615.04
日本語教師謝金	48,498.60	3) 教材等購入	9,837.46
教材等購入費	10,355.22	4) 弁論大会助成	3,442.73
弁論大会	465.12	5) 日本語能力試験助成	3,853.59
備品購入助成金	9,510.21	6) 備品購入(日語教師会)	9,510.21
2) 交流基金助成金		7) 西語補習事業	11,050.13
日本語教師謝金	17,411.97	8) 受取事務費	4,885.65
弁論大会助成	1,244.23		
日本語能力試験	2,232.66		
3) 協力金・寄付金			
弁論大会協力金	1,534.88		
弁論大会立替金	283.97		
能力試験受験料	1,732.56		
西語補習事業立替金	11,050.13		
合計	121,824.67	合計	121,824.67

換算レート：US\$1＝現地通貨 2,150 Gs. (97年12月27日現在)

※通貨を統一させる都合上、金額は米ドル表記とし、現地通貨との換算レートを記載願います。

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	24,193.55	28,795.81	28,061.22	28,571.43	27,906.98
支出額(実績)	25,370.97	25,861.26	26,211.73	24,941.90	25,186.78

4. 事業概要

(1) 事業内容

・日本語学校の運営（各会共通） ・スペイン語学力増進講座（一部） ・自治活動（移住地） ・道路維持管理（移住地） ・治安活動（移住地） ・診療所運営（一部）

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・日本語学校の運営 ・教師謝金の配布 ・教材等助成金の配布 ・教師研修会の実施 ・作文、スピーチコンテストの実施 ・能力試験の実施	・特になし		

2) 分野名：スペイン語教育

・スペイン語学力増進講座	・移住地の子弟は日常日本語を多く使用しているため、この国の国語のスペイン語の能力が市街地の子弟に比べ低い。	・専門講師と契約を結び、教師の指導をはじめ、テキスト等の制作、子弟の学力増進を図っている。	・将来大学入学率を高め、日系社会・パ国社会に貢献でき得る人格者の育成が目的。
--------------	---	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

・汎米日本語教師合同研修会

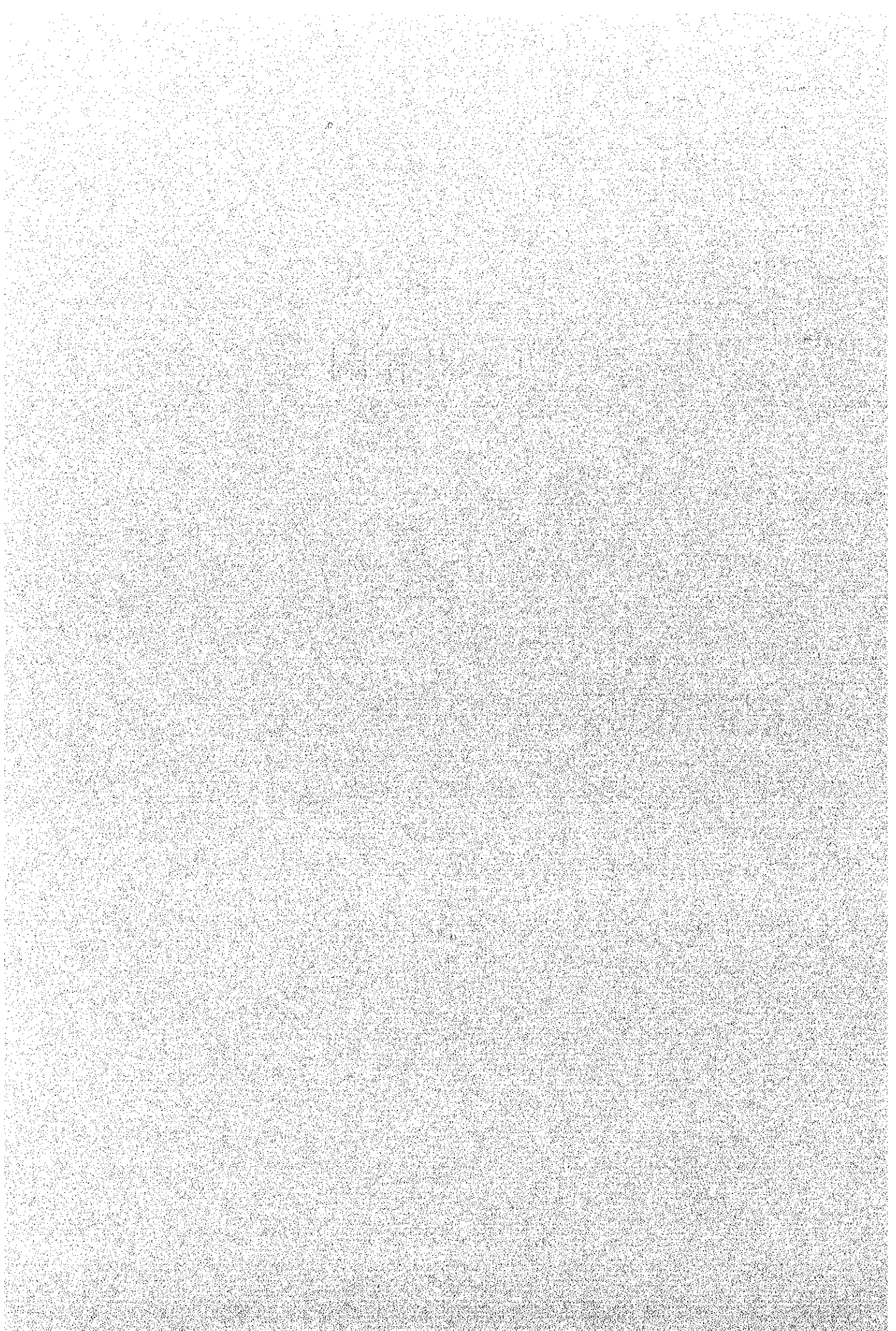
(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

特になし

ペルー共和国



海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ペルー日系人協会 (欧文) Asociacion Peruano Japonesa del Peru				
設立目的	1) 在ペルー日本人及び日系人の福祉増進、文化的教養的生活や社会的地位の向上を図り、相互扶助や困窮者の援助を為す。 2) ペルー日本両国間の学術・文化交流を促進し、両国民間の相互理解と友好関係の増進を図り、両国の発展に寄与する。				
設立年月日	1917年 10月 日		法人格取得年月日	1928年 10月 日	
代表者	職 名	会長		任 期	98年 4月～ 99年 3月
	氏名 (和文)	玉元 ルイス			
	// (欧文)	Luis Tamamoto			
役員構成	会長 1名、副会長 1名、総務部長 1名、総務補佐 1名、会計 1名、会計補佐 1名、日本語普及部長 1名、援護部長 1名、体育部長 1名、診療所部長 1名、高齢者福祉部長 1名、劇場部長 1名、育英部長 1名、広報及び渉外部長 1名、文化部長 1名、組織部長 1名、国際部長 1名				
本部所在地	Av. Gregorio Escobedo 803, Lima 11, Peru				
連絡先	郵便物宛先	Av. Gregorio Escobedo 803, Lima 11, Peru			
	電話番号	463-0606/0676 (団体) 個人宅[])			
	FAX番号	463-5767 (団体) 個人宅[])			
	E-mailアドレス	postmas@apjp.org.pe (団体) 個人宅[])			
会員数	個人会員	世帯2,237名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		人(____%)	人(____%)	人(____%)	人(____%)
	法人、団体会員	61法人 (団体) 主な法人 (団体) 名:			
会員資格等	会員資格	・日本人及び日系成人 ・入会には会員2名の推薦が必要 ・会費を納めたもの			
	会 費	年間 米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨)			
	会員の特典	1) 本協会の催す行事や事業に参加し、施設が利用できる。 2) 診療所、講習会等の料金の割引が受けられる。 3) 本協会の役員になり、運営に直接たずさわることができる。			
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等) 現地語 (スペイン語)				
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 現地語 (スペイン語)				
定期出版物	タイトル	日系人協会ボレティン (2ヶ月に1回)			
	発行部数	2,000			
	言 語	スペイン語			
	価格 (有料の場合)	無料			

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部 門 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	総務部	15	23
	経理部	6	0
	諸講座講師(武道、手芸、編物、洋裁、書道等)	16	20
	労働者(管理人、掃除夫、ボーイ等)		21
付 属 機 関	機 関 名	専従正規 職員数	その他 職員数
	診療所	医師110	120
	日本語普及部	2	28
	神内先駆者センター		7

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業 務 概 要	人員体制
文化部	日本ペルー両国の文化の紹介、普及	24
日本語普及部	成人クラスと児童クラスがあり、日本語の普及に努めている	8
援護部	日系人困窮者に対する適切な援助及び、当国慈善団体への協力	21
体育部	日本古来の伝統的武道(柔道、剣道、空手、合気道)を普及	7
診療所	110名の医師(内日系医師60名)が予防医療施設として現地社会保健に寄与	7
神内先駆者センター	一世高齢者の福祉活動を行っている	13
劇場部	講演会、コンサート、演劇等開催	9
育英部	経済的に恵まれない日系中学生、大学生を対象に奨学金の貸し付け	7
広報部	会報やボレティン作成を始め、あらゆる印刷業務	5
ペルー日系青年調整役	全ペルー日系団体の青年の連帯に努めている	8

(3) 所有施設と利用状況

施 設 名	利 用 状 況
事務所	常時職員がおり、業務遂行のため利用
大ホール	会の行事に応じて利用
診療所	1日平均1,100名。月25,500名が利用
診療所附属研究所	1995年中には150,532件の血液、尿、その他の検査が行われた
劇場	日本とペルーの文化活動に利用
神内先駆者センター	高齢者の福祉活動に利用
移住史料館	月～金 午後2時～6時、土曜日 午前10時～午後1時 開館
図書室	1日平均 20名～25名が利用
日本語普及部	毎日600名の受講者が利用

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 1月 1日～97年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1) 診察料、教授料	3,805,615.00	1) 職員給料	1,234,731.00
2) 会費収入	341,698.00	2) 医師謝金	657,308.00
3) 会場賃貸料	142,264.00	3) 診療所用医薬品	} 819,403.00
4) 寄付、助成金	453,144.00	4) 文房具類	
5) 事業収入	225,607.00	5) 弁護士及び講師謝金	412,726.00
6) 利子収入	40,588.00	6) 劇場維持(音響,照明)	7,721.00
		7) 電気,水道,電話料等	547,128.00
		8) 税金	417,598.00
		9) コンピュータ	477,591.00
		コピー機等保守費	
		10) 銀行利子	18,379.00
		11) 次期繰越金	416,331.00
合計	5,008,916.00	合計	5,008,916.00

換算レート: US\$1=現地通貨 2.65ソール (97年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	1,663,598.00	4,010,496.00	5,590,560.00	5,503,065.00	5,791,227.00
支出額(実績)	3,371,668.00	4,956,889.00	6,343,344.00	4,988,832.00	4,592,579.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・自治活動（域内行事、対外交渉、JICA助成金関連） ・診療所運営 ・諸講座（日本語、柔道、剣道、空手、手芸、洋裁その他） ・第3世代に対する福祉 ・高齢困窮者援護
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・日本語講座	・資格のある教師が不足 ・若手教師の不足 ・日本語教師の待遇改善	・青年ボランティアの派遣を望む	・日本語教育専門学校の設立

2) 分野名：福祉（対高齢者）

・高齢者に対する福祉活動	・75才以上の一世には無条件で福祉センターへ入会させているが、現在二世の高齢者は対象外にある		・日系人全体を対象にしたい
--------------	--	--	---------------

3) 分野名：福祉（対高齢困窮者）

・高齢困窮者援護	・当国における二世の平均年齢が65才を越えており、援護を必要とする二世が増えてきている。 ・日本国籍所有者の場合は日本政府の援護金を期待出来るが、二世のペル単一国籍者の扱い方に苦慮している。		・日系人全体を対象にする必要があると思われる
----------	--	--	------------------------

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	当国農業省から本邦の（社）国際農業者交流協会へ送りだす農業研修員に対して日本語教育で支援
地方自治体との関係	なし
地域住民・民間団体との関係	当協会が運営する診療所に来訪する患者の9割は地域の非日系住民である。 当協会が運営する体育部の受講者の9割は地域の非日系住民である。 当協会が運営する手芸講座の受講者の9割は地域の非日系住民である。 当協会が運営する日本語講座の4割は地域の非日系住民である。

(3) JICAへの要望・期待

当協会事務局及び日本語普及部の要員として、青年ボランティアの派遣を要望する。



ペルー日系人協会事務所



日秘診療所

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ペルー日本語教師会 (欧文) Asoc. de Profesores de Idioma Japones del Peru					
設立目的	1) ペルー国内の日本語教育の普及、向上と充実をはかる。 2) 日本語教師の養成や、質の向上につとめる。 3) 会員相互の親睦をはかる。 4) その他、本会にふさわしいと認められる活動を行なう。					
設立年月日	1977年 1月 6日		法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職 名	会長		任 期	99年 1月～ 99年 12月	
	氏名 (和文)	田口 吉元				
	// (欧文)	Yoshimoto Taguchi				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、書記 1名、会計 1名					
本部所在地	Av. Gregorio Escobedo 803, Lima 11, Peru					
連絡先	郵便物宛先	Av. Gregorio Escobedo 803, Lima 11, Peru				
	電話番号	463-0606/0676 (団体) 個人宅[])				
	FAX番号	463-5767 (団体) 個人宅[])				
	E-mailアドレス	ytaguchi@chavin.rcp.net.pe (団体) 個人宅(田口))				
会員数	個人会員	世帯 58名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 %				
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		23人(40%)	28人(48%)	6人(10%)	人(%)	1人(2%)
	法人、団体会員	法人 (団体) 主な法人 (団体) 名:				
会員資格等	会員資格	・日系、非日系問わず、何らかの形で日本語教育に携っている者				
	会 費	年間 12米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨3.30 s)				
	会員の特典	夏期日本語教育合同研修会、冬期日本語教育巡回セミナーの受講割引 定期出版物の無料配布				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 日本語、スペイン語					
定期出版物	タイトル	教師会だより		アンデス		
	発行部数	60		100		
	言 語	日本語		日本語		
	価格 (有料の場合)			*一般入手希望者への販売 15ドル		

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

なし	
----	--

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (98年 1月 1日～98年12月31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度繰越金	2,547.90	新年会	371.90
会員会費	872.73	夏期セミナー	4,094.03
新年会費	193.94	APJ98年度維持費	57.58
リマ旧市街史跡巡り	213.33	リマ旧市街史跡巡り	420.00
ビデオ貸出入金	278.79	水害見舞金	90.91
銀行利息	183.70	移住百年祭資金協力	1,000.00
98年度JICA助成金	4,465.62	全国弁論大会	1,067.76
寄付金(笹川,中村,中山)	2,270.00	備品費	133.00
99年度JICA助成金	3,621.07	(コピー機修理、扇風機)	
		慶弔費	169.09
		事務費	84.61
		通信費	6.21
		役員活動費	69.70
		故阿相繁氏未亡人お礼	65.33
		銀行手数料	26.12
		定期預金に移動	2,000.00
		次年度繰越金	4,990.84
合計	14,647.08	合計	14,647.08

換算レート: US\$1=現地通貨 3.30 s (98年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1994	1995	1996	1997	
予算額					
支出額(実績)	3,087.22	2,775.27	2,158.09	5,955.48	

4. 事業概要

(1) 事業内容

- ・ペルー国内の日本語教育の普及、向上と充実を図る。
- ・日本語教師の養成や質の向上に努める。
- ・会員相互の親睦を図る。
- ・その他、本会にふさわしいと認められる活動を行う。

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・夏期日本語教育セミナーの開催 ・全国日本語弁論大会の開催 ・日本語能力検定試験協力 ・若手教師養成勉強会実施 ・日系研修員の募集	・若手教師不足 一世、二世の教師の高齢化が顕著であり、若手教師の育成が不可欠。 ・若手教師の日本語能力の底上げ ・長期派遣日本語教育専門家の不在	ペルー日系人協会日本語普及部とタイアップして、昨年6月～11月まで毎週土曜日午後3時～4時半まで「若手教師対象勉強会」を実施。熟年教師4人が毎月1回交代で講義を担当して若手教師の日本語能力アップのために協力。会場は日系人協会が無料で提供して行われた。	若手教師の日本語能力のレベルが全体的に低いいため、割り当てられた研修員の枠をうめるにも事欠く状態。継続的に勉強会を行い自信を持たせ、1人でも多く研修に参加させて、ペルーの日本語教育の活性化をはかりたい。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

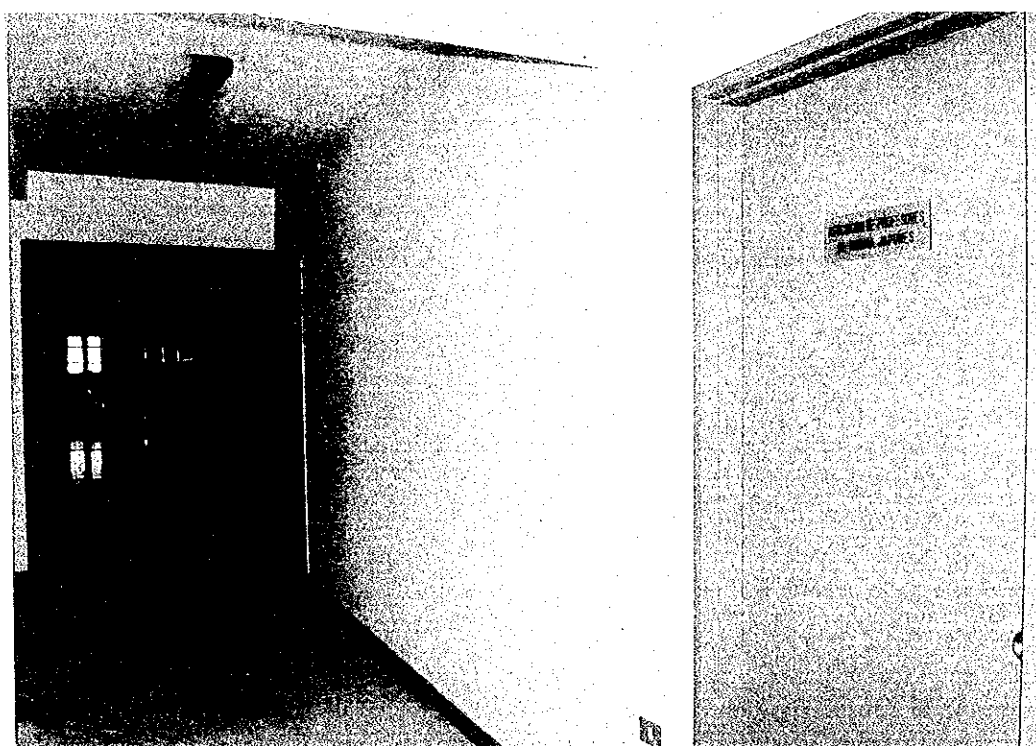
中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

日本政府派遣農業技術指導専門家3名の殺害に続き、大使公邸人質事件、更に、早大生殺害のため、今尚政府派遣の人材協力が中断したままである。日本語教育分野でも深刻な痛手を受けている。一日も早い人材派遣協力の再開をお願い致したい。



ペルー日系人協会内の（日秘文化会館）ペルー日本語教師会の事務室



ペルー日系人協会内の（日秘文化会館）ペルー日本語教師会の事務室